

(学校運営協議会・報告様式)

令和5年度 第 2 回 鈴鹿市立庄内小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和 5年 6月 20日 (火) 9 : 1 5 ~ 1 1 : 1 5

2 場 所 家庭科室, 各学年教室, 音楽室, 体育館

3 あいさつ (学校長, 委員長)

(学校長)

今回は, 全6回中の2回目になる。参観中心なので, 子どもの様子を見ていただいて, お気づきのことを教えていただき, 指導に生かしていきたい。いただいたご意見は, 職員会議の中で職員にも伝えていく。

昨年も, 子どもの姿勢や下敷きを使っていない子どもがいることなどをご指摘いただいた。

この後の授業参観は, 低学年は水泳の予定であったが, 水温気温が基準を満たさず, 体育館で体育を行う。気温が水温より2.5℃以上高いことを基準としている。コロナ下で3年間中止していたため, 低学年は初めてとなるため, 3年生で顔つけができない子が数名いる。

今年になり, 猿が学校に現れる機会が増えている。子どもたちがいるときにも出ることが増えている。休み明けに, 家庭科室のあたりに雨どいから下まで血痕があり, 駐在所や教育委員会, 市役所に報告をした。猿のものであると認定された。その後も, 正門前に猿が3匹座っていて子どもが通れなくなったり, 自宅近辺に猿が現れ, 怖がって泣きながら保護者と登校したりした子がいた。プール掃除を行った後に猿が現れて, プールサイドに糞が見つかった。教育委員会等に写真を送り, 報告をした。

代表者会でも相談をしたが, なかなか打つ手がない。市民センターより猿除けのにおい袋をいただき, プールに設置した。

(委員長)

日中ということで, せっかくの参観に, 欠席の方が多いいことは少し残念であるが, 今回もご意見よろしくお願ひします。

4 協議内容

(1) 日程説明

9 : 4 5 ~ 1 0 : 3 0 (2限目) 1年2年…合同体育, 3年…社会,
4年…書写, 5年…音楽, 6年…算数
4年5年は, 担任同士の交換授業。自由に見て回っていただく。

(2) 次回の学校運営協議会の持ち方について

昨年度の委員さんより、先生方と直接話すことがなく、そうした機会を持ってみたいと要望をいただいたことから、今年の3回目は、夏休み中に設定し、先生も参加することとした。持ち方や話題についてご意見をいただきたい。

芝山の使い方について、「ブランコを設置してはどうか」「読書をしてみたらどうか」など、新たな発想でご意見をいただいた。読書については実際に、4月に6年生が行った。そのような新しいぎっくばらんな意見をいただける場になるとよい。

学校運営協議会では、環境整備の話などをよくしてきたが、子どもたちの今と昔の違いを知っていただくのもよいのではないだろうか。

ICTの導入などが話題になっていた。学校運営上、気になることはないだろうか。

- ・ 昨年の学校運営協議会の方に声をかけるなど、拡大してみてもどうか。
- ・ ICTが導入されたことは知っているが、どのくらい子どもたちが使えるかなど、なかなかわからない。
- ・ 先生から見て、庄内小学校のいいところ、困っているところなど、親としては全体で言いにくいこともあるかもしれないが、それを聞いてみる場でもよいのではないか。
- ・ 学校運営協議会として何ができるか見えるとよい。
(→ご意見をいただけるだけでありがたい。人数の少ない良さも、デメリットもある。)

【2限目 各学年の授業参観】

(3) 参観の感想

- ・ 久しぶりに小学校を見た。黒板のスクリーンにまず驚いた。クラスの人数が少ないので、目が行き届いていると感じた。
- ・ 親としての視点ではなく、教育現場の課題として新たな見方をすることができた。何がお手伝いできるのか知る機会となった。校長先生、教頭先生、PTAの力になれる意見を言えるようにしたい。
- ・ 卒園した子どもたちの姿を見ることができた。自分が在学したころよりも、少ない人数となっているが、支援の必要な子は多い。特別支援学級籍の子ではないが、支援が必要な子に先生がしっかり声をかけていた。全体に行く決められたカリキュラムの中で、一人ひとりに合わせた指導を行う必要のある場面があり、大変さを感じた。
- ・ 6年生は、昨年度より難しい内容に取り組み、雰囲気はほかの学年と違った。低学年の楽しそうな姿も見られた。音楽の授業では、パートを決める話

し合いで、譲り合って決定できていたことは、よい姿だと思った。

- ・ 6年生は、緊張感を感じた。ほかの学年は、発言しやすい雰囲気を感じた。姿勢が崩れていたり、上履きを脱いでいる子が多いクラスもあり、気になった。困っている子を助けている姿が見られたクラスもあり、よかった。
- ・ コロナ以降、学校に来る機会が減っていたが、外部から人が入る機会の大事さを感じた。いつもと違う雰囲気もあったのでは。上靴については、昨年も話に出ていた。姿勢も、正していった方がよいのでは。教育現場の難しさを感じた。
- ・ 図書ボランティアのときに、6年生に手伝ってもらったことがある。興味のある子は、どんどん作業に入ってくる。話をしてみると、いろんな話ができてよかった。子どもたちの輪の中に入っていくと、子どもたちは反応する。

(4) 危機管理マニュアル、いじめ防止基本方針について

(教頭の説明)

- ・ 学校生活上起こり得る様々な危機について3つの段階（未然防止・発生時・事後）の危機管理を想定した具体的な対応について記載した。プール前の救急救命法講習会でも、ここに基づいていくことを確認した。
- ・ 項目は、新たな課題に応じて追加している。本年度は、登下校時の交通安全について追加した。
- ・ 子どもをまもる家、安全・安心マップ等、PTAと連携して更に見直していく。
- ・ いじめ防止基本方針では、危機管理マニュアルの「いじめ」に関する事前の対応について、さらに詳しく記載してある。

(委員より)

- ・ 行事を利用して、炊き出しなどの訓練をしたこともあった。

5. 次回の学校運営協議会について

8 / 3 (木) 13:30~